

遠野市監査委員告示第11号  
令和5年8月21日

地方自治法第199条第7項の規定により遠野市が出資している法人の監査を実施したので、同条第9項の規定により、その結果を別紙のとおり公表します。

遠野市監査委員 多田博子  
遠野市監査委員 奥友康悦

令和4年度

遠野市が出資している  
法人の監査結果報告書

遠野市監査委員

遠 監 第 20 号  
令和5年8月21日

遠野市長 多 田 一 彦 様

遠野市監査委員 多 田 博 子  
遠野市監査委員 奥 友 康 悦

遠野市が出資している法人の監査結果報告書（令和4年度決算分）について  
地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第7項の規定により遠野市が出資している  
法人について監査を実施したので、同条第9項の規定により、その結果を別紙のとおり  
提出します。

## 目 次

第1	監査の期日、対象等	1
第2	監査の内容	1
第3	監査の結果	1
1	株式会社遠野	2
2	株式会社遠野テレビ	6
3	一般社団法人遠野市畜産振興公社	11
4	一般社団法人遠野ふるさと公社	21
5	一般社団法人遠野わさび公社	27
6	株式会社遠野ふるさと商社	31

### 【凡例】

- 1 文中及び各表中に用いる比率は、原則として小数点第2位を四捨五入して表示した。
- 2 千円単位で表示してあるものについては、原則として千円未満を四捨五入して表示した。そのため差額又は合計金額が一致しない場合がある。
- 3 文中及び各表中に用いる構成比率は、それぞれの占める割合を表示し、比較増減率（伸び率）は前年度に対する増減の割合を表示した。
- 4 符号の用法は、次のとおりである。
  - 「0.0」は、比較増減率の欄を除き、該当数値はあるが表示単位未満のものを示す。
  - 「-」は、該当数値がないもの又は算出不能なものを示す。
  - 「△」は、負数、減又は収入不足を示す。

# 遠野市が出資している法人の監査結果報告書 (令和4年度決算分)

## 第1 監査の期日、対象等

地方自治法第199条第7項の規定に基づき、市が出資している法人について監査を実施した。書類監査は令和5年7月10日、各法人からの聞き取りによる監査は、各法人の事務所又は市役所本庁舎会議室において7月12日及び14日の2日間、延べ3日間実施した。

	法人名	資本金総額	市の出資金	出資率
1	株式会社遠野	200,000千円	100,000千円	50.0%
2	株式会社遠野テレビ	93,000千円	51,000千円	54.8%
3	一般社団法人遠野市畜産振興公社	250,000千円	190,000千円	76.0%
4	一般社団法人遠野ふるさと公社	71,000千円	60,500千円	85.2%
5	一般社団法人遠野わさび公社	5,000千円	3,300千円	66.0%
6	株式会社遠野ふるさと商社	64,025千円	30,000千円	46.9%
	合計	683,025千円	434,800千円	—

(⑤1000\_監査対象法人)

## 第2 監査の内容

各法人の令和4年度における事業報告書及び財務諸表により、その内容を監査するとともに、総勘定元帳、預金通帳その他関係書類を試査する形で提示を受け、また、法人の代表者、経理担当者等からの説明を聴取して実施した。

## 第3 監査の結果

各法人の事業報告書及び財務諸表は、本事業年度における事業成果及び財務状況をおおむね適正に表示していると認められた。

令和4年度決算における損益計算書又は正味財産増減計算書で赤字を計上している法人は、(株)遠野、(一社)遠野市畜産振興公社、(一社)遠野ふるさと公社の3法人である。昨年度、赤字を計上した(一社)遠野わさび公社は、当期収支差額1,158千円で黒字決算となった。(株)遠野テレビは、開業以来連続の黒字決算となった。

詳細については、後述の監査結果のとおりであるが、(株)遠野テレビにおいて、年度末における通帳残高と財務諸表(貸借対照表)の金額が一致していない事例が認められた。

公益法人においては公益法人会計基準、会社法に基づく法人においては企業会計原則を遵守しながら、一層の経営努力を望むものである。

## 1 株式会社遠野

遠野ふれあい交流センター、とおの物語の館及び城下町資料館の指定管理、遠野市立博物館の受付業務、宿泊施設、レストラン、喫茶店及び土産品店の経営並びに各種イベントの企画、制作、運営等を営む法人である。

令和4年度は新型コロナウイルス感染症行動制限の規制緩和、中止されていたイベントの開催、全国旅行支援等による観光入込数の増が期待されたが、7月から9月にかけての新型コロナウイルス感染者の増加、原油価格高騰による水道光熱費の増、原材料の高騰等により、経営は引き続き厳しい一年となった。

あえりあ遠野の宿泊部門においては、宿泊者数17,676人（前年度10,991人）と前年度を6,685人（60.8%）上回った。これは、いわて旅応援プロジェクト及び遠野宿泊応援クーポンを活用し、県内及び近県の教育旅行、スポーツ合宿、県主催のセミナーグループ等の集客のほか、新たに4泊5日の遠野滞在型ツアーを販売し延べ272名の集客に努めたことによる。客室全62室の稼働率は56.0%（前年度35.3%）で20.7ポイント増加、売上額は119,340千円（前年度72,260千円）で47,080千円（65.2%）増加となった。

営業（料飲）部門においては、レストラン及び宴会の売上額は86,350千円（前年度54,738千円）で31,612千円（57.8%）の増加となったが、コロナ禍前と比較すると売上額は6割程度となっている。

受託管理部門のうち、とおの物語の館については、入館者数19,161人（前年度12,062人）で58.9%増加した。その結果、お土産処赤羽根蔵への来客者も増加して、売上は9,578千円（前年度6,724千円）で42.4%増加となった。

なお、遠野ふれあい交流センター（とおの物語の館他含む）及び遠野市立博物館受付業務を合算した受託料は68,816千円（前年度71,160千円）であった。

経営成績では、総収益が281,550千円（前年度218,660千円）と62,889千円（28.8%）増加したが、総費用も300,239千円（前年度231,111千円）で69,128千円（29.9%）増加し、当期純利益は△18,689千円（前年度△12,450千円）で6,239千円（50.1%）の減少となった。これに前期繰越利益剰余金△24,243千円を加えた次期繰越利益剰余金は△42,932千円となり、令和元年度から4年連続しての赤字決算となった。

指定管理者負担金については、新型コロナウイルス感染症の影響による宿泊客や宴会利用の減少という状況から、市との協議により納付が猶予された令和2年度及び令和3年度を合わせた指定管理者負担金77,774千円を含め、今年度から、継続して負担できる仕組みに見直しされた。

今後も、人口減少、新型コロナウイルス感染症拡大後の社会を取り巻く状況の変化、水道光熱費や原材料費の高騰、労働力不足などにより、法人経営・事業運営は、厳しい状況が続くものと思われる。従前とは異なって大きく変化した市場環境に対し、厳しい経営状況への認識を持ち、受動的な姿勢ではなく主体性を持ち、多方面への積極的な営業活動と市民に目を向けた愛される施設としての新たな事業展開に期待したい。

## (1) 経営状況

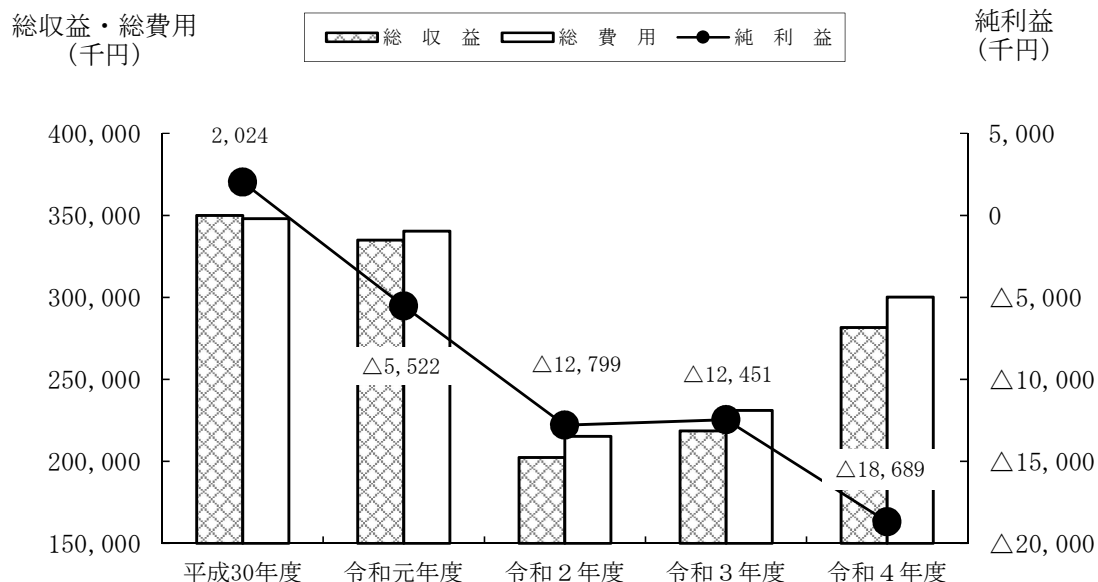
(単位：円、%)

区 分	令和3年度	令和4年度	前年度比較	
			増減額	増減率
総 収 益	218,660,346	281,549,557	62,889,211	28.8
総 費 用	231,110,544	300,238,862	69,128,318	29.9
当期純利益	△12,450,198	△18,689,305	△6,239,107	△ 50.1

(◎1101\_遠野\_経営状況)

※ 総費用には、法人税等納税充当金を含む。

### 総収益・総費用及び純利益の推移



株式会社遠野

(単位：千円)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
総 収 益	349,949	334,825	202,444	218,660	281,550
総 費 用	347,925	340,347	215,243	231,111	300,239
純 利 益	2,024	△5,522	△12,799	△12,451	△18,689

(◎1102\_遠野\_総収入等の推移)

## (2) 財務状況

### 表1 損益計算書

株式会社遠野

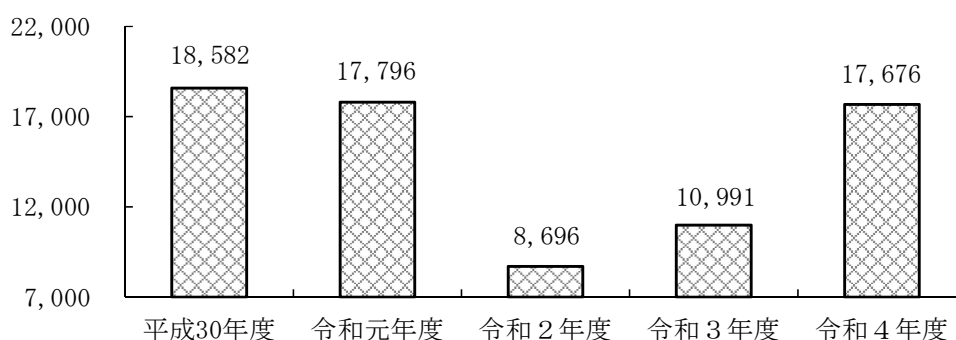
(単位：円、%)

区 分		令和3年度	令和4年度	前年度比較	
				増減額	増減率
1 収入	(1)売上高	198,158,813	274,506,307	76,347,494	38.5
	(2)営業外収益	20,435,835	7,036,250	△13,399,585	△65.6
	計	218,594,648	281,542,557	62,947,909	28.8
2 支出	(1)売上原価	22,824,924	35,903,231	13,078,307	57.3
	(2)販売費及び一般管理費	207,833,792	263,528,579	55,694,787	26.8
	(3)営業外費用	148,828	244,052	95,224	64.0
	計	230,807,544	299,675,862	68,868,318	29.8
経常利益		△12,212,896	△18,133,305	△5,920,409	△48.5
特別利益		65,698	7,000	△58,698	△89.3
特別損失		0	260,000	260,000	皆増
法人税、住民税及び事業税		303,000	303,000	0	0.0
当期純利益		△12,450,198	△18,689,305	△6,239,107	△50.1
前期繰越利益剰余金		△11,792,898	△24,243,096	△12,450,198	△105.6
次期繰越利益剰余金		△24,243,096	△42,932,401	△18,689,305	△77.1

(⑤1104\_遠野\_損益計算書)

(人)

### 宿泊客数の推移



(単位：人、%)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	前年度比較	増減率
宿泊客数	18,582	17,796	8,696	10,991	17,676	6,685	60.8

(⑤1103\_遠野\_宿泊客数の推移)



表2 貸借対照表

株式会社遠野

(単位：円、%)

区 分	令和3年度	令和4年度	前年度比較	
			増減額	増減率
1 資産	248,493,035	238,088,273	△10,404,762	△4.2
(1) 流動資産	240,234,659	230,454,031	△9,780,628	△4.1
現金及び預金	217,866,785	208,251,351	△9,615,434	△4.4
売掛金	5,316,522	12,320,192	7,003,670	131.7
棚卸資産	8,511,340	8,399,192	△112,148	△1.3
未収入金	8,513,793	1,506,536	△7,007,257	△82.3
未収還付法人税等	2,105	760	△1,345	△63.9
前払費用	55,114	0	△55,114	皆減
貸倒引当金	△31,000	△24,000	7,000	22.6
(2) 固定資産	8,258,376	7,634,242	△624,134	△7.6
有形固定資産	8,060,456	7,436,322	△624,134	△7.7
無形固定資産	55,000	55,000	0	0.0
投資その他の資産	142,920	142,920	0	0.0
2 負債	71,136,131	79,420,674	8,284,543	11.6
(1) 流動負債	26,860,266	31,769,311	4,909,045	18.3
買掛金	1,197,751	8,162,380	6,964,629	581.5
未払金	4,013,527	4,953,088	939,561	23.4
未払費用	11,624,257	5,250,352	△6,373,905	△54.8
前受金	80,000	60,500	△19,500	△24.4
未払消費税等	2,506,800	4,757,800	2,251,000	89.8
未払法人税等	1,143,700	1,470,000	326,300	28.5
賞与引当金	5,600,000	6,050,000	450,000	8.0
預り金	694,231	1,065,191	370,960	53.4
(2) 固定負債	44,275,865	47,651,363	3,375,498	7.6
3 純資産	177,356,904	158,667,599	△18,689,305	△10.5
(1) 資本金	200,000,000	200,000,000	0	0.0
(2) 利益準備金	1,600,000	1,600,000	0	0.0
(3) 繰越利益剰余金	△24,243,096	△42,932,401	△18,689,305	△77.1
負債及び純資産合計	248,493,035	238,088,273	△10,404,762	△4.2

(51105\_遠野\_貸借対照表)

## 2 株式会社遠野テレビ

CATV「遠野テレビ」を中心としたマルチメディアネットワークの構築によるテレビの難視聴の解消、地震等災害時の緊急対応、多チャンネルテレビや電話、インターネット等の様々なシステムが利用可能な高度情報施設の運営受託を目的として平成12年に設立された会社であり、有線テレビジョン放送事業及び放送施設の管理運営の受託、有線放送電話事業・電気通信事業の受託、映像ソフトの企画制作業務、情報処理サービス業務、テレビ番組・コマーシャルの企画制作等の業務を行っている。

令和3年度のFTTH化整備完了により、市内全域の高度情報社会に対応した情報の提供・発信機能の強靱化が図られ、特にインターネット新規加入や高速コースへの契約変更が増加した。これらの通信量が增大する状況に対し、安定的な放送及び通信サービスを提供できる環境維持に努めた。

令和4年度は、宮守町と小友町を中心に遠野テレビ加入者でインターネット未加入世帯929世帯に対しDMを送付し、電話及び訪問による丁寧な説明を行ったほか、毎月の折り込みチラシ、自主制作CM、ホームページ等で積極的な営業活動に取り組んだ。その結果、令和5年3月31日現在のテレビ加入状況は、8,696世帯（加入率83.2%）と前年度から31世帯減少とはなったが新規76件の加入に結び付けた。インターネット加入状況は、4,196世帯（加入率40.2%）と249世帯増加している。既加入者の増速変更契約は201件であった。

自主放送番組においては、番組の充実を図るため加入者アンケートを実施するとともに、遠野遺産を紹介する「遠野遺産にいーぐ」の制作や報道製作スタッフを各地域に派遣し情報収集を行う等、地域情報番組「とおのタイム」をマンネリ化させない取組が見られた。

経営成績は、総収益が273,687千円（前年度265,187千円）で8,500千円（3.2%）増加したが、総費用も269,692千円（前年度260,209千円）で9,483千円（3.6%）増加したことから、当期純利益は3,995千円（前年度4,978千円）で983千円（19.8%）の減少となった。これに前期繰越利益剰余金40,809千円と合わせた当期末処分利益は44,804千円、任意積立金60,000千円を加えた利益剰余金は104,804千円となっており、昨年度より当期純利益は減少したものの、着実に繰越剰余金を生み出し、経営状態は堅調に推移していると認められた。

また、令和5年4月からの指定管理者制度へ向けた課題の整理やeラーニングによる社員教育も進められており、円滑な移行を目指す姿勢が認められた。

今後も（株）遠野テレビのサービス向上と今後10年間の目指すべき姿を定めた「経営改革プラン」及び5年間の進むべき方向性を定めた「第3次中期経営改革」に基づき、地域に密着したきめ細やかなサービスの維持と自立した経営体制の確立に期待したい。

なお、仕分入力時の転記ミスにより、通帳残高と決算書の金額が一致していない事例が認められた。勘定科目が預り金のため、会計上損益計算書に影響はなく、税務上の修正申告は必要ないものの、記載については誤りが無いよう適切に処理にされたい。

## (1) 経営状況

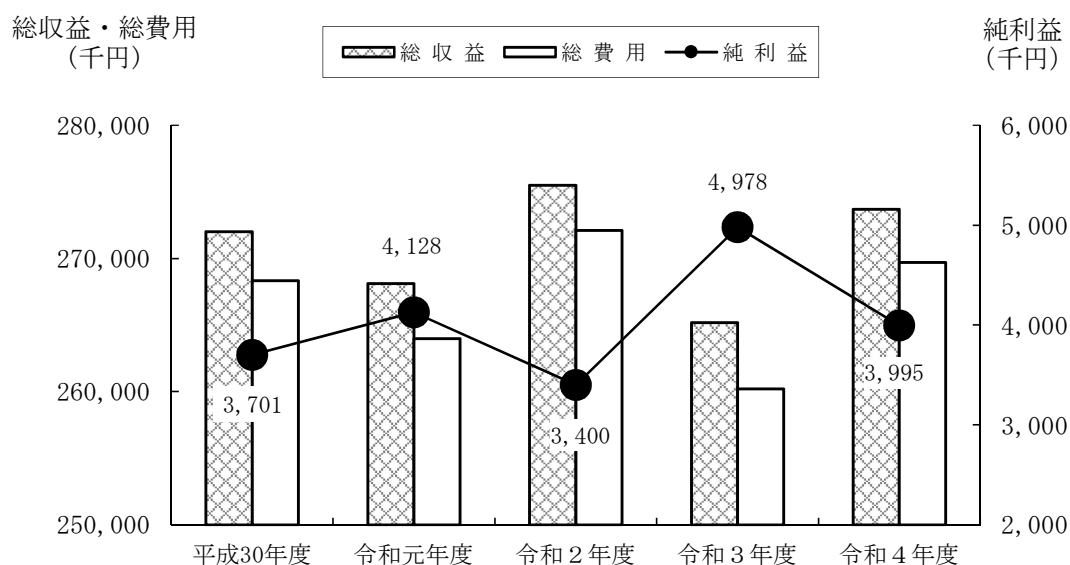
(単位：円、%)

区 分	令和3年度	令和4年度	前年度比較	
			増減額	増減率
総 収 益	265,187,395	273,687,356	8,499,961	3.2
総 費 用	260,209,110	269,692,440	9,483,330	3.6
当期純利益	4,978,285	3,994,916	△983,369	△19.8

(◎1201\_遠野テレビ\_経営状況)

※ 総費用には、法人税等納税充当金を含む。

### 総収益・総費用及び純利益の推移

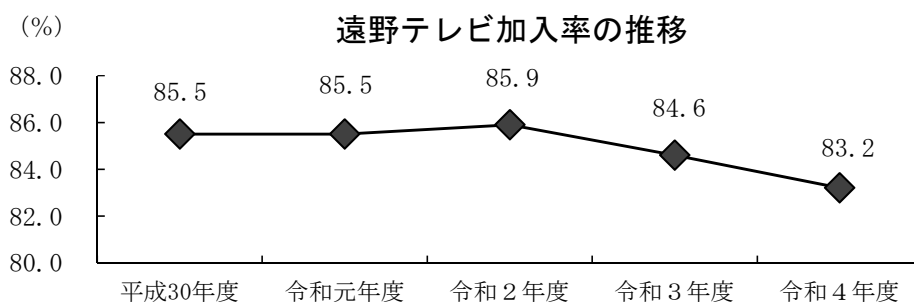


株式会社遠野テレビ

(単位：千円)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
総 収 益	272,019	268,104	275,506	265,187	273,687
総 費 用	268,318	263,976	272,107	260,209	269,692
純 利 益	3,701	4,128	3,400	4,978	3,995

(◎1202\_遠野テレビ\_総収益等の推移)

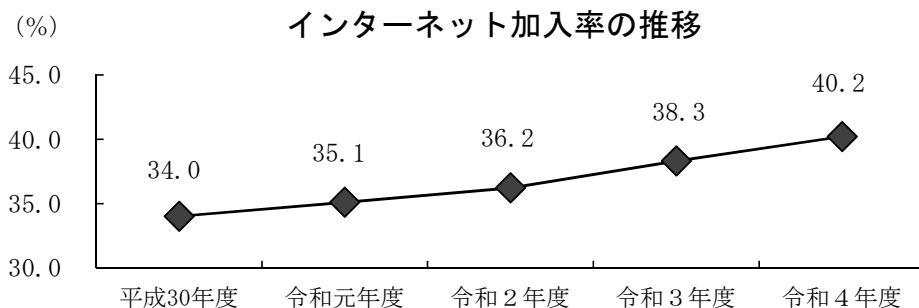


遠野テレビ

(単位：世帯、%)

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	前年度比較	増減率
遠野エリア	対象世帯数	8,758	8,758	8,758	8,758	176	2.0
	加入世帯数	7,281	7,282	7,312	7,189	△ 13	△ 0.2
	加入率	83.1	83.1	83.5	82.1	ポイント △ 1.8	—
宮守エリア	対象世帯数	1,554	1,554	1,554	1,554	△ 42	△ 2.7
	加入世帯数	1,540	1,538	1,542	1,538	△ 18	△ 1.2
	加入率	99.1	99.0	99.2	99.0	ポイント 1.5	—
合計	対象世帯数	10,312	10,312	10,312	10,312	134	1.3
	加入世帯数	8,821	8,820	8,854	8,727	△ 31	△ 0.4
	加入率	85.5	85.5	85.9	84.6	ポイント △ 1.4	—

(◎1203\_遠野テレビ\_加入率の推移)



遠野テレビインターネット

(単位：世帯、%)

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	前年度比較	増減率	
遠野エリア	対象世帯数	8,758	8,758	8,758	8,758	176	2.0	
	加入世帯数	2,956	3,052	3,143	3,336	169	5.1	
	加入率	33.8	34.8	35.9	38.1	39.2	ポイント 1.1	—
宮守エリア	対象世帯数	1,554	1,554	1,554	1,554	△ 42	△ 2.7	
	加入世帯数	549	571	595	611	80	13.1	
	加入率	35.3	36.7	38.3	39.3	45.7	ポイント 6.4	—
合計	対象世帯数	10,312	10,312	10,312	10,312	134	1.3	
	加入世帯数	3,505	3,623	3,738	3,947	4,196	249	6.3
	加入率	34.0	35.1	36.2	38.3	40.2	ポイント 1.9	—

(◎1204\_遠野テレビ\_インターネット加入率の推移)

## (2) 財務状況

### 表1 損益計算書

株式会社遠野テレビ

(単位：円、%)

区 分		令和3年度	令和4年度	前年度比較	
				増減額	増減率
1 収入	(1) 売上高	263,853,653	272,463,877	8,610,224	3.3
	(2) 営業外収益	1,274,105	1,223,479	△50,626	△4.0
	計	265,127,758	273,687,356	8,559,598	3.2
2 支出	(1) 売上原価	117,006,527	120,833,189	3,826,662	3.3
	(2) 販売費及び 一般管理費	140,116,697	147,578,350	7,461,653	5.3
	(3) 営業外費用	1,153,385	0	△1,153,385	皆減
	計	258,276,609	268,411,539	10,134,930	3.9
経常利益		6,851,149	5,275,817	△1,575,332	△23.0
特別利益		59,637	0	△59,637	皆減
特別損失		30,001	1	△30,000	△100.0
法人税等充当額		1,902,500	1,280,900	△621,600	△32.7
当期純利益		4,978,285	3,994,916	△983,369	△19.8
前期利益剰余金		95,831,107	100,809,392	4,978,285	5.2
次期利益剰余金		100,809,392	104,804,308	3,994,916	4.0

(⑤1205\_遠野テレビ\_損益計算書)

表2 貸借対照表

株式会社遠野テレビ

(単位：円、%)

区 分	令和3年度	令和4年度	前年度比較	
			増減額	増減率
1 資産	279,083,207	278,236,077	△847,130	△0.3
(1) 流動資産	250,399,275	261,436,465	11,037,190	4.4
現金及び預金	190,643,909	188,204,738	△2,439,171	△1.3
貯蔵品	87,820	86,830	△990	△1.1
商品	340,800	417,800	77,000	22.6
立替金	80,435	60,235	△20,200	△25.1
未収金	59,550,992	73,002,543	13,451,551	22.6
前払費用	52,319	102,319	50,000	95.6
貸倒引当金	△357,000	△438,000	△81,000	△22.7
(2) 固定資産	28,683,932	16,799,612	△11,884,320	△41.4
有形固定資産	28,440,932	16,158,362	△12,282,570	△43.2
無形固定資産	0	398,250	398,250	皆増
投資その他の資産	243,000	243,000	0	0.0
2 負債	85,273,815	80,431,769	△4,842,046	△5.7
(1) 流動負債	57,794,823	66,694,061	8,899,238	15.4
未払費用	28,061,080	38,945,345	10,884,265	38.8
前受金	52,200	35,000	△17,200	△33.0
預り金	23,976,843	23,455,416	△521,427	△2.2
未払法人税等	1,325,800	329,900	△995,900	△75.1
未払消費税等	4,378,900	3,928,400	△450,500	△10.3
(2) 固定負債	27,478,992	13,737,708	△13,741,284	△50.0
3 純資産	193,809,392	197,804,308	3,994,916	2.1
(1) 資本金	93,000,000	93,000,000	0	0.0
(2) 任意積立金	60,000,000	60,000,000	0	0.0
(3) 繰越利益剰余金	40,809,392	44,804,308	3,994,916	9.8
うち当期純利益	4,978,285	3,994,916	△983,369	△19.8
負債及び純資産合計	279,083,207	278,236,077	△847,130	△0.3

(5)1206\_遠野テレビ\_貸借対照表)

### 3 一般社団法人遠野市畜産振興公社

遠野市と花巻農業協同組合が総合的な畜産振興を推進するために設立した牧場、草地、家畜の受託管理施設等の効率的な管理運営等を行う法人であり、平成25年10月1日に一般社団法人に移行した。

「馬の里事業部門」では、競走馬施設管理事業、ホースパーク事業、乗用馬育成事業等を行っており、「馬産地遠野」の伝統を継承するため、福祉・教育・観光の各分野で関係部署と連携して、公益性の高い事業に積極的に取り組んでいる。

「放牧事業部門」では、牧場及び草地の管理運営、家畜の受託放牧・管理、キャトルセンターの管理運営、堆肥センターの運営、収益事業等による畜産振興に取り組んでいる。

馬の里事業部門と放牧事業部門を合わせた経営成績は、経常・経常外収益が273,899千円（前年度282,951千円）で9,052千円（3.2%）減少した。経常・経常外費用（法人税等充当金含む）は281,472千円（前年度283,416千円）で1,944千円（0.7%）減少し、当期一般正味財産増減額も△7,573千円（前年度△465千円）で7,108千円（1,530%）減少した。これに、前期繰越収支差額△63,298千円を加えた次期繰越収支差額は△70,870千円となっている。これは、馬の里事業部門では4年連続での黒字決算であったが、放牧事業部門で馬の里事業部門での利益を超える赤字決算となったことによる。詳細については、事業ごとの記述のとおりである。

#### 【馬の里事業部門】

競走馬施設管理事業では、(株)遠野トレーニングセンターに出資している施設貸出先である2法人のうち1法人が9月末に撤退した。このため、令和4年度における月間平均利用実績は33.0頭（前年67.2頭）と前年度の半数に満たない実績となった。

(株)遠野トレーニングセンターからは契約解除の申出があり、馬の里にとっては大きな収益事業であることから、理事会において、令和5年度から賃借料を減額することが決定された。

ホースパーク事業では、施設内での乗馬教室、乗馬体験、希望する保育園及び小学校等の受入に努め、ふれあい体験・引馬利用は367人（前年度320人）、乗馬教室は80人（前年度73人）と利用者数は増加した。また、乗馬スポーツ少年団、遠野緑峰高校馬事研究会の活動支援やこども流鏑馬の練習指導を行った。年度末には、ホースパーク馬に活用するため小格馬3頭を購入した。

乗用馬育成事業では、新潟県粟島浦村馬管理現地指導業務の受託が昨年度で終了したため、受託料は帯広畜産大学受精卵移植業務のみとなり3,257千円（前年度6,665千円）に減少した。遠野市乗用馬市場については、継続して新規購買者の掘り起こしと覆馬場内にWi-Fiを設置し、インターネット・ライブ配信及び電話入札を行ったほか、新たに種雄馬紹介のリーフレットを作成するなど積極的な情報発信に努めた。結果として、購買申込者数38団体（前年度27団体）、総取引額18,310千円（前年度13,470千円）、上場19頭に対する売却成立は16頭・売却率84.2%（前年度17頭に対し13頭・76.5%）と前年度を上回った。乗用馬預託事業については、月平均で31頭（前年度30頭）と前年度並みとなった。繁殖事業については、前年度と比較し、乗用馬の種付頭数が21頭（前年度37頭）と減少した

ものの、農用馬の種付頭数が30頭（前年度12頭）と増加し、総数も51頭（前年度49頭）と増加した。

経営成績では、経常・経常外収益は99,410千円（前年度106,077千円）で6,667千円（6.3%）減少した。経常・経常外費用（法人税等充当金を含む）は98,932千円（前年度102,303千円）で3,371千円（3.3%）減少した結果、当期一般正味財産増減額は478千円（前年度3,774千円）で3,296千円（87.3%）の減少となった。これに前期繰越収支差額△89,351千円を加えた次期繰越収支差額は△88,873千円となっている。

今年度は黒字決算とはなったものの、競走馬の施設を貸出していた1社の撤退、水道光熱費の価格高騰、老朽化した施設の整備など、来年度は更に厳しい経営となることを見込まれることから、中長期的視野に立った収益事業の運営を図りたい。

また、ホースパーク事業用の小格馬を3頭購入したことから、有効に活用し事業の充実に努められたい。

### 【放牧事業部門】

公共牧野の広大な面積と豊富な草資源を有効に活用し、草地の効率的な管理運営と受託放牧を中心とした合理的な牧場経営を推進するため、昨年度から高清水牧場を閉牧し、荒川牧場と寺沢牧場の2牧場に集約している。全体として、放牧頭数は597頭（前年度609頭）と12頭（2.0%）減少し、放牧戸数も112戸（前年度124戸）と12戸（9.7%）の減少となった。それに伴い利用料収入も19,332千円（前年度20,117千円）と減少した。大野平及び石羽根キャトルセンターについては高い利用率で推移している。

収益事業の子牛生産販売事業については、販売頭数は50頭（成牛15頭・子牛35頭）（前年度54頭 成牛15頭・子牛39頭）で販売総額は23,370千円（前年度26,410千円）と子牛の市場価格の低迷もあり、前年度を下回った。粗飼料生産販売事業については、草地更新、天候不順、獣害等の影響により採草面積及び収穫量は前年を下回った。

経営成績では、経常・経常外収益は174,489千円（前年度176,874千円）で2,385千円（1.3%）減少した。また、経常・経常外費用は、182,540千円（前年度181,113千円）で1,427千円（0.8%）増加し、その結果、当期一般正味財産増減額は△8,051千円（前年度△4,239千円）で3,812千円（89.9%）の減少となった。これに前期繰越収支差額26,054千円を加えた次期繰越収支差額は18,003千円となっている。

近年の社会情勢の変動や原油価格等の高騰による化成肥料費、配合飼料費、燃料費、資材費、電気料金等の大幅な値上がりが経営を圧迫しており、現状においては損失が膨らむ状況にある。牧草販売については単価を見直す方向で協議を進めているということであったが、放牧使用料についても生産原価が使用料を上回っている状況にあることから、検討が必要と思われる。

市内畜産農家の安定した経営のためにも市営牧野等の管理運営に努力し、今後も生産者が安心して預託できる施設運営が行われることを望む。



## (1) 経営状況

(単位：円、%)

区 分		令和3年度	令和4年度	前年度比較	
				増減額	増減率
経常・経常外 収益 A	馬の里	106,077,381	99,410,138	△6,667,243	△6.3
	放 牧	176,874,045	174,489,193	△2,384,852	△1.3
	計	282,951,426	273,899,331	△9,052,095	△3.2
経常・経常外 費用 B	馬の里	102,231,223	98,859,895	△3,371,328	△3.3
	放 牧	181,112,784	182,539,957	1,427,173	0.8
	計	283,344,007	281,399,852	△1,944,155	△0.7
法 人 税 住 民 税 C	馬の里	72,000	72,000	0	0.0
	放 牧	0	0	0	0.0
	計	72,000	72,000	0	0.0
当期一般正味 財産増減額 A - B - C	馬の里	3,774,158	478,243	△3,295,915	△87.3
	放 牧	△4,238,739	△8,050,764	△3,812,025	△89.9
	計	△464,581	△7,572,521	△7,107,940	△1,530.0

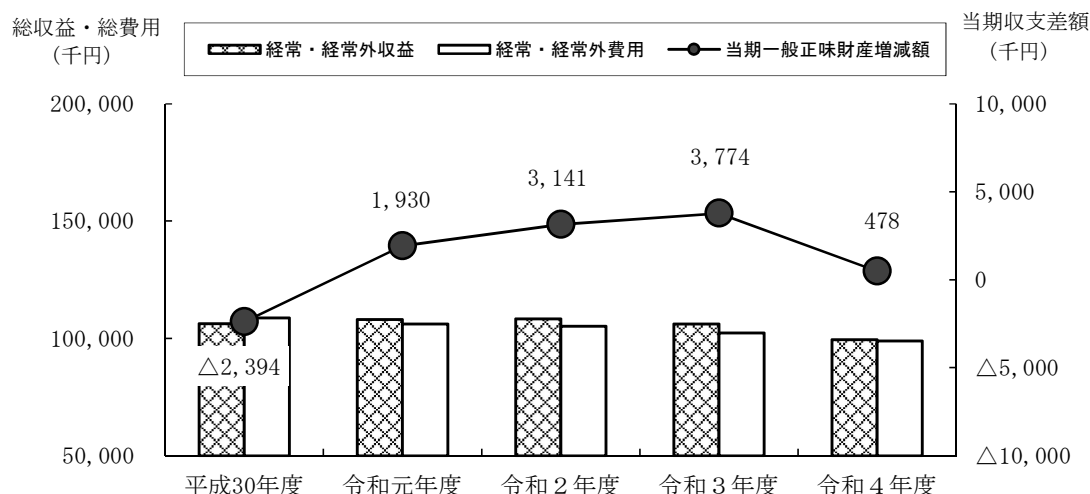
(1301\_畜産公社\_経営状況)

(単位：円、%)

区 分		令和3年度	令和4年度	前年度比較	
				増減額	増減率
当期一般正味財産 増減額	馬の里	3,774,158	478,243	△3,295,915	△87.3
	放 牧	△4,238,739	△8,050,764	△3,812,025	△89.9
	計	△464,581	△7,572,521	△7,107,940	△1,530.0
前期繰越収支差額	馬の里	△93,125,515	△89,351,357	3,774,158	4.1
	放 牧	30,292,431	26,053,692	△4,238,739	△14.0
	計	△62,833,084	△63,297,665	△464,581	△0.7
当期繰越収支差額	馬の里	△89,351,357	△88,873,114	478,243	0.5
	放 牧	26,053,692	18,002,928	△8,050,764	△30.9
	計	△63,297,665	△70,870,186	△7,572,521	△12.0

(5)1301-2\_畜産公社\_経営状況)

### 収益、費用及び当期一般正味財産増減額の推移（馬の里事業部門）



一般社団法人遠野市畜産振興公社（馬の里事業部門）

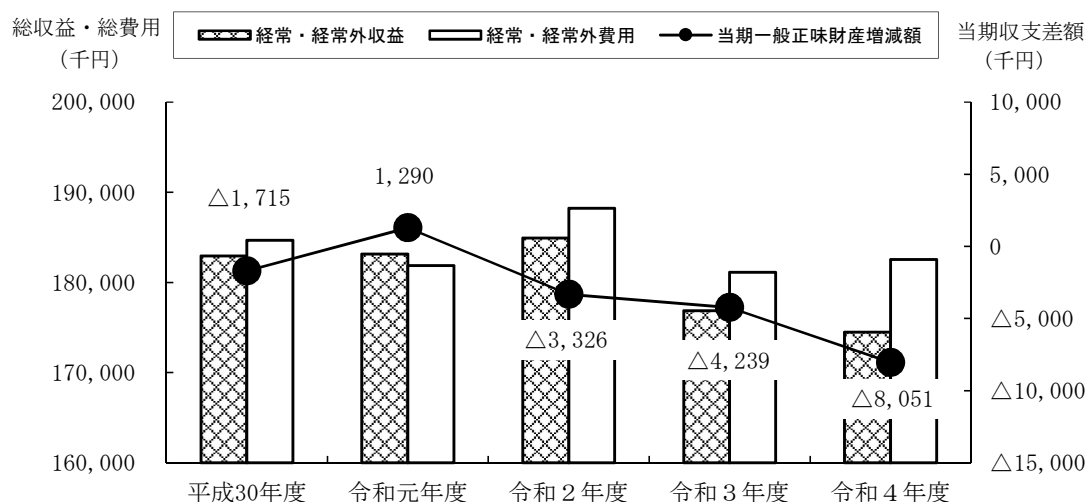
（単位：千円）

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
経常・経常外収益	106,315	108,062	108,243	106,077	99,410
経常・経常外費用	108,709	106,132	105,102	102,303	98,932
当期一般正味財産増減額	△ 2,394	1,930	3,141	3,774	478

※経常・経常外費用には、法人税等納税充当金を含む。

（⑤1302\_畜産公社\_収益等の推移\_馬の里事業）

### 収益、費用及び当期一般正味財産増減額の推移（放牧事業部門）



一般社団法人遠野市畜産振興公社（放牧事業部門）

（単位：千円）

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
経常・経常外収益	182,955	183,157	184,913	176,874	174,489
経常・経常外費用	184,670	181,867	188,239	181,113	182,540
当期一般正味財産増減額	△ 1,715	1,290	△ 3,326	△ 4,239	△ 8,051

※経常・経常外費用には、法人税等納税充当金を含む。

（⑤1303\_畜産公社\_収益等の推移\_放牧事業）

## (2) 財務状況

表 1 正味財産増減計算書【全体】

一般社団法人遠野市畜産振興公社

(単位：円、%)

区 分			令和 3 年度	令和 4 年度	前年度比較	
					増減額	増減率
1 経常収益	(1) 事業収益	馬の里	53,423,377	49,214,509	△4,208,868	△7.9
		放 牧	174,020,200	169,532,609	△4,487,591	△2.6
		計	227,443,577	218,747,118	△8,696,459	△3.8
	(2) 受取補助金等	馬の里	52,416,000	49,490,100	△2,925,900	△5.6
		放 牧	283,200	1,734,052	1,450,852	512.3
		計	52,699,200	51,224,152	△1,475,048	△2.8
	(3) 雑収益、 貸倒引当金戻入	馬の里	238,004	705,529	467,525	196.4
		放 牧	2,570,645	3,222,532	651,887	25.4
		計	2,808,649	3,928,061	1,119,412	39.9
	計	馬の里	106,077,381	99,410,138	△6,667,243	△6.3
		放 牧	176,874,045	174,489,193	△2,384,852	△1.3
		計	282,951,426	273,899,331	△9,052,095	△3.2
2 経常費用	(1) 事業費	馬の里	18,736,331	26,167,680	7,431,349	39.7
		放 牧	102,675,758	107,692,169	5,016,411	4.9
		計	121,412,089	133,859,849	12,447,760	10.3
	(2) 管理費	馬の里	83,407,311	72,571,837	△10,835,474	△13.0
		放 牧	78,337,764	74,751,846	△3,585,918	△4.6
		計	161,745,075	147,323,683	△14,421,392	△8.9
	(3) 貸倒引当金繰入	馬の里	87,581	120,378	32,797	37.4
		放 牧	99,257	95,941	△3,316	△3.3
		計	186,838	216,319	29,481	15.8
	計	馬の里	102,231,223	98,859,895	△3,371,328	△3.3
		放 牧	181,112,779	182,539,956	1,427,177	0.8
		計	283,344,002	281,399,851	△1,944,151	△0.7
3 経常外収益	馬の里	0	0	0	0.0	
	放 牧	0	0	0	0.0	
	計	0	0	0	0.0	
4 経常外費用	馬の里	0	0	0	0.0	
	放 牧	5	1	△4	△80.0	
	計	5	1	△4	△80.0	
5 法人税、住民税及び事業税	馬の里	72,000	72,000	0	0.0	
	放 牧	0	0	0	0.0	
	計	72,000	72,000	0	0.0	
当期一般正味財産増減額	馬の里	3,774,158	478,243	△3,295,915	△87.3	
	放 牧	△4,238,739	△8,050,764	△3,812,025	△89.9	
	計	△464,581	△7,572,521	△7,107,940	△1,530.0	
一般正味財産期末残高	馬の里	100,648,643	101,126,886	478,243	0.5	
	放 牧	86,053,692	78,002,928	△8,050,764	△9.4	
	計	186,702,335	179,129,814	△7,572,521	△4.1	

(5)1304\_畜産公社\_正味財産増減計算書\_全体)

表2 正味財産増減計算書【馬の里事業部門】

一般社団法人遠野市畜産振興公社

(単位：円、%)

区 分	令和3年度	令和4年度	比較増減	増減率
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益	106,077,381	99,410,138	△6,667,243	△6.3
事業収益	53,423,377	49,214,509	△4,208,868	△7.9
競走馬施設賃借料	12,360,000	12,360,000	0	0.0
競走馬施設分担金	6,064,192	5,508,155	△556,037	△9.2
作業営繕保守管理委託料	8,850,000	8,850,000	0	0.0
ホースパーク利用料	513,118	628,025	114,907	22.4
ホースパークふるさと村受託料	436,368	436,368	0	0.0
乗用馬預託料等	18,535,071	17,675,411	△859,660	△4.6
その他の事業収益	6,664,628	3,756,550	△2,908,078	△43.6
受取補助金等	52,416,000	49,490,100	△2,925,900	△5.6
受取地方公共団体補助金(遠野市)	51,393,000	48,404,000	△2,989,000	△5.8
その他の補助金	1,023,000	1,086,100	63,100	6.2
雑収益	204,287	617,948	413,661	202.5
貸倒引当金戻入	33,717	87,581	53,864	159.8
(2) 経常費用	102,231,223	98,859,895	△3,371,328	△3.3
事業費	18,736,331	26,167,680	7,431,349	39.7
購入飼料費	9,154,373	12,167,491	3,013,118	32.9
草地管理費	436,479	552,266	115,787	26.5
消耗品・馬具類	492,538	827,457	334,919	68.0
衛生費	2,428,257	2,119,062	△309,195	△12.7
診療委託料	900,000	900,000	0	0.0
労務費	3,365,837	3,941,678	575,841	17.1
保険費	492,753	663,204	170,451	34.6
その他の事業費	1,466,094	4,996,522	3,530,428	240.8
管理費	83,407,311	72,571,837	△10,835,474	△13.0
給料手当	35,693,020	30,189,711	△5,503,309	△15.4
福利厚生費	6,494,785	5,409,526	△1,085,259	△16.7
水道光熱費	7,218,828	7,839,021	620,193	8.6
保守修繕費	12,068,970	9,322,574	△2,746,396	△22.8
車輛燃料費	575,364	551,254	△24,110	△4.2
損害保険料費	3,167,564	3,055,542	△112,022	△3.5
リース料費	888,763	863,939	△24,824	△2.8
委託費	728,925	756,198	27,273	3.7
租税公課	4,087,196	3,789,639	△297,557	△7.3
減価償却費	5,101,925	5,106,246	4,321	0.1
その他の管理費	7,381,971	5,688,187	△1,693,784	△22.9
貸倒引当金繰入	87,581	120,378	32,797	37.4
当期経常増減額	3,846,158	550,243	△3,295,915	△85.7
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	0.0
(2) 経常外費用	0	0	0	0.0
当期経常外増減額	0	0	0	0.0
3 法人税、住民税及び事業税	72,000	72,000	0	0.0
当期一般正味財産増減額	3,774,158	478,243	△3,295,915	△87.3
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0.0
正味財産期首残高	96,874,485	100,648,643	3,774,158	3.9
正味財産期末残高	100,648,643	101,126,886	478,243	0.5

(5)1305\_畜産公社\_正味財産増減計算書\_馬の里)

表3 正味財産増減計算書【放牧事業部門】

一般社団法人遠野市畜産振興公社

(単位：円、%)

区 分	令和3年度	令和4年度	比較増減	増減率
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益	176,874,045	174,489,193	△2,384,852	△1.3
事業収益	174,020,200	169,532,609	△4,487,591	△2.6
遠野市営牧野指定管理料	67,958,777	73,569,116	5,610,339	8.3
放牧利用料	20,116,906	19,331,814	△785,092	△3.9
キャトル利用料	41,217,274	38,876,330	△2,340,944	△5.7
バイチコール料	797,371	694,915	△102,456	△12.8
粗飼料売上	4,389,695	4,290,111	△99,584	△2.3
子牛売上	24,933,745	18,737,664	△6,196,081	△24.9
堆肥センター運營業務受託料	9,474,000	9,602,000	128,000	1.4
市営牧野草地更新業務受託料	3,409,000	3,346,000	△63,000	△1.8
その他受託料	701,000	327,000	△374,000	△53.4
受取賃借料	1,022,432	757,659	△264,773	△25.9
受取補助金等	283,200	1,734,052	1,450,852	512.3
受取地方公共団体補助金(遠野市)	173,700	293,674	119,974	69.1
その他の補助金等	109,500	1,440,378	1,330,878	1,215.4
雑収益	2,479,303	3,123,275	643,972	26.0
貸倒引当金戻入	91,342	99,257	7,915	8.7
(2) 経常費用	181,112,779	182,539,956	1,427,177	0.8
事業費	102,675,758	107,692,169	5,016,411	4.9
購入飼料費	36,424,805	38,139,245	1,714,440	4.7
草地管理費	11,274,330	15,559,850	4,285,520	38.0
賃借料	2,561,456	2,615,656	54,200	2.1
作業委託料	5,347,550	6,387,523	1,039,973	19.4
労務費	32,637,830	29,899,575	△2,738,255	△8.4
繁殖牛生産費	2,290,600	3,019,821	729,221	31.8
その他の事業費	12,139,187	12,070,499	△68,688	△0.6
管理費	78,337,764	74,751,846	△3,585,918	△4.6
給料手当	36,794,268	38,195,301	1,401,033	3.8
福利厚生費	6,198,376	6,407,886	209,510	3.4
水道光熱費	5,573,239	6,461,980	888,741	15.9
保守修繕費	5,112,691	4,926,819	△185,872	△3.6
車輛燃料費	3,908,242	4,369,327	461,085	11.8
リース料費	11,891,559	4,913,268	△6,978,291	△58.7
租税公課	545,533	522,074	△23,459	△4.3
減価償却費	3,789,531	4,909,510	1,119,979	29.6
その他の管理費	4,524,325	4,045,681	△478,644	△10.6
貸倒引当金繰入	99,257	95,941	△3,316	△3.3
当期経常増減額	△4,238,734	△8,050,763	△3,812,029	△89.9
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	0.0
(2) 経常外費用	5	1	△4	△80.0
当期経常外増減額	△5	△1	4	80.0
3 法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0.0
当期一般正味財産増減額	△4,238,739	△8,050,764	△3,812,025	△89.9
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0.0
正味財産期首残高	90,292,431	86,053,692	△4,238,739	△4.7
正味財産期末残高	86,053,692	78,002,928	△8,050,764	△9.4

(5)1306\_畜産公社\_正味財産増減計算書\_放牧部)

表4 貸借対照表【全体】

一般社団法人遠野市畜産振興公社

(単位：円、%)

区 分			令和3年度	令和4年度	前年度比較	
					増減額	増減率
1 資産	(1) 流動資産	馬の里	56,273,964	56,263,161	△10,803	0.0
		放 牧	80,521,245	74,938,988	△5,582,257	△6.9
		計	136,795,209	131,202,149	△5,593,060	△4.1
	(2) 固定資産	馬の里	46,281,836	46,761,023	479,187	1.0
		放 牧	6,879,171	4,600,740	△2,278,431	△33.1
		計	53,161,007	51,361,763	△1,799,244	△3.4
	計	馬の里	102,555,800	103,024,184	468,384	0.5
		放 牧	87,400,416	79,539,728	△7,860,688	△9.0
		計	189,956,216	182,563,912	△7,392,304	△3.9
2 負債	(1) 流動負債	馬の里	1,907,157	1,897,298	△9,859	△0.5
		放 牧	1,346,724	1,536,800	190,076	14.1
		計	3,253,881	3,434,098	180,217	5.5
	(2) 固定負債	馬の里	0	0	0	0.0
		放 牧	0	0	0	0.0
		計	0	0	0	0.0
	計	馬の里	1,907,157	1,897,298	△9,859	△0.5
		放 牧	1,346,724	1,536,800	190,076	14.1
		計	3,253,881	3,434,098	180,217	5.5
3 正味財産	(1) 一般正味財産	馬の里	100,648,643	101,126,886	478,243	0.5
		放 牧	86,053,692	78,002,928	△8,050,764	△9.4
		計	186,702,335	179,129,814	△7,572,521	△4.1
負債及び正味財産合計		馬の里	102,555,800	103,024,184	468,384	0.5
		放 牧	87,400,416	79,539,728	△7,860,688	△9.0
		計	189,956,216	182,563,912	△7,392,304	△3.9

(⑤1307\_畜産公社\_貸借対照表\_全体)

表5 貸借対照表【馬の里事業部門】

一般社団法人遠野市畜産振興公社

(単位：円、%)

区 分	令和3年度	令和4年度	前年度比較	
			増減額	増減率
1 資産	102,555,800	103,024,184	468,384	0.5
(1)流動資産	56,273,964	56,263,161	△10,803	0.0
預金・現金	42,074,253	36,056,419	△6,017,834	△14.3
貸倒引当金	△87,581	△120,378	△32,797	△37.4
貯蔵品(棚卸資産)	251,925	413,325	161,400	64.1
未収金	14,035,367	19,669,606	5,634,239	40.1
立替金(借受金)	0	244,189	244,189	皆増
(2)固定資産	46,281,836	46,761,023	479,187	1.0
建物	8,975,358	7,121,809	△1,853,549	△20.7
構築物	32,726,999	30,697,780	△2,029,219	△6.2
機械及び装置	2,716,880	5,410,165	2,693,285	99.1
その他の資産	1,862,599	3,531,269	1,668,670	89.6
2 負債	1,907,157	1,897,298	△9,859	△0.5
(1)流動負債	1,907,157	1,897,298	△9,859	△0.5
未払金(法人税・消費税・飼料代等)	1,037,033	1,897,298	860,265	83.0
前受金・仮受金	870,124	0	△870,124	皆減
(2)固定負債	0	0	0	0.0
3 正味財産	100,648,643	101,126,886	478,243	0.5
(1)一般正味財産	100,648,643	101,126,886	478,243	0.5
負債及び正味財産合計	102,555,800	103,024,184	468,384	0.5

(⑤1308\_畜産公社\_貸借対照表\_馬の里事業)

表6 貸借対照表【放牧事業部門】

一般社団法人遠野市畜産振興公社

(単位：円、%)

区 分	令和3年度	令和4年度	前年度比較	
			増減額	増減率
1 資産	87,400,416	79,539,728	△7,860,688	△9.0
(1)流動資産	80,521,245	74,938,988	△5,582,257	△6.9
預金・現金	60,778,752	57,254,555	△3,524,197	△5.8
貸倒引当金	△99,257	△95,941	3,316	3.3
貯蔵品(棚卸資産)	3,931,500	2,100,000	△1,831,500	△46.6
未収金	15,906,650	15,676,774	△229,876	△1.4
立替金	3,600	3,600	0	0.0
(2)固定資産	6,879,171	4,600,740	△2,278,431	△33.1
建物	2	2	0	0.0
機械及び装置	4,863,462	4,411,332	△452,130	△9.3
車両運搬具	1,901,522	83,341	△1,818,181	△95.6
その他の資産	114,185	106,065	△8,120	△7.1
2 負債	1,346,724	1,536,800	190,076	14.1
(1)流動負債	1,346,724	1,536,800	190,076	14.1
未払金(消費税)	1,313,900	1,536,800	222,900	17.0
預り金	32,824	0	△32,824	皆減
(2)固定負債	0	0	0	0.0
3 正味財産	86,053,692	78,002,928	△8,050,764	△9.4
(1)一般正味財産	86,053,692	78,002,928	△8,050,764	△9.4
負債及び正味財産合計	87,400,416	79,539,728	△7,860,688	△9.0

(⑤1309\_畜産公社\_貸借対照表\_放牧事業)



#### 4 一般社団法人遠野ふるさと公社

遠野市並びに市内の産業団体及び産業人の有機的な結合により、豊富な素材と資源を活用し、地域の独自性を生かした特産品の開発、流通の拡充及び地場産業の振興並びに就業機会の増大を図ることによって地域経済の活性化及び市民福祉の増進に資することを目的に、遠野市、花巻農業協同組合及び遠野商工会で構成された法人であり、平成25年4月3日に一般社団法人へ移行した。

平成27年度から、遠野市情報交流センター（遠野風の丘）、たかむろ水光園、遠野ふるさと村及び伝承園の各施設について、指定管理者制度に基づく指定管理者となっていたが、令和元年度に「営利部門は株式会社化・公益要素が高い部門は一般社団法人へと事業分割・整理」を掲げて着手した経営改善3カ年計画に基づき、令和2年6月30日をもって遠野風の丘、伝承園及び営業販売部の3部門を(株)遠野ふるさと商社へ事業譲渡及び全従業員が転籍し、その後は同社から必要な人員の出向を受けて運営している。

令和4年度は7月の長雨や新型コロナウイルス感染症の影響を受け、2施設における入込数・売上額は前年度実績を上回ったもののコロナ禍前の実績を下回り、6年連続の赤字決算となった。

各施設別の入込数は、遠野ふるさと村18,967人（前年度13,526人、40.2%増加）、たかむろ水光園51,028人（前年度44,577人、14.5%増加）で、合計では69,995人（前年度58,103人）となっている。部門別売上は、売店部門2施設の合計で14,581千円（前年度12,414千円、17.5%増加）となったが、これは遠野ふるさと村での修学旅行等団体客の受入れに伴う体験プログラムの売上が伸びたほか、新たな体験メニューとしてのバケツジンギスカン、犬同伴企画、冬期間の雪上大運動会、どべっこ祭りなどの取組による。食堂部門は遠野ふるさと村レストラン営業を休止とし、イベント時の貸出と団体食をたかむろ水光園との連携により提供した。たかむろ水光園は25,540千円（前年度18,384千円、38.9%増加）となっている。

指定管理・受託事業では、遠野市から管理を委託された2施設の指定管理料として30,261千円（前年度35,946千円）、たかむろ水光園利用者送迎バス実証運行業務及び高室浄水場休日夜間等管理業務等の合計で3,050千円（前年度2,430千円）の収入があった。

経営成績では、総収益は130,062千円（前年度117,073千円）で12,989千円（11.1%）増加し、総費用も145,728千円（前年度136,176千円）で9,552千円（7.0%）増加した。その結果、当期収支差額は△15,666千円（前年度△19,103千円）となり累積欠損額は前年度112,872千円から128,538千円へと増加した。

本年度は経営改善3カ年計画の最終年度として、遠野市及び(株)遠野ふるさと商社の指導及び協力を得ながら公社の清算に向けた取組を行った。指定管理していた2施設は、令和5年度から(株)遠野ふるさと商社が指定管理者として引き継ぐことになり、施設の運営に必要な資産についても令和5年4月1日に譲渡を完了した。

令和5年度は、遠野市と(株)遠野ふるさと商社との協議により、解散に向けた清算事務を進めることになるが、法律の規定に則り、遺漏なく行われたい。

## (1) 経営状況

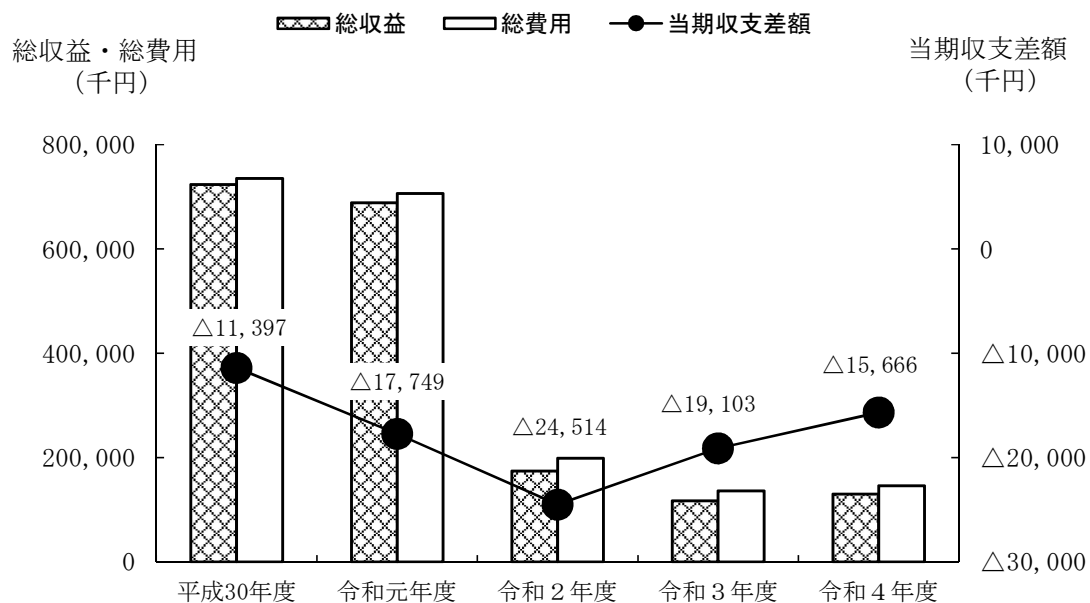
(単位：円、%)

区 分	令和3年度	令和4年度	前年度比較	
			増減額	増減率
総 収 益	117,073,132	130,061,778	12,988,646	11.1
総 費 用	136,176,071	145,727,653	9,551,582	7.0
当期収支差額	△19,102,939	△15,665,875	3,437,064	18.0

(⑤1401\_ふるさと公社\_経営状況)

※ 総費用には、法人税等納税充当金を含む。

### 総収益・総費用及び当期収支差額の推移



一般社団法人遠野ふるさと公社

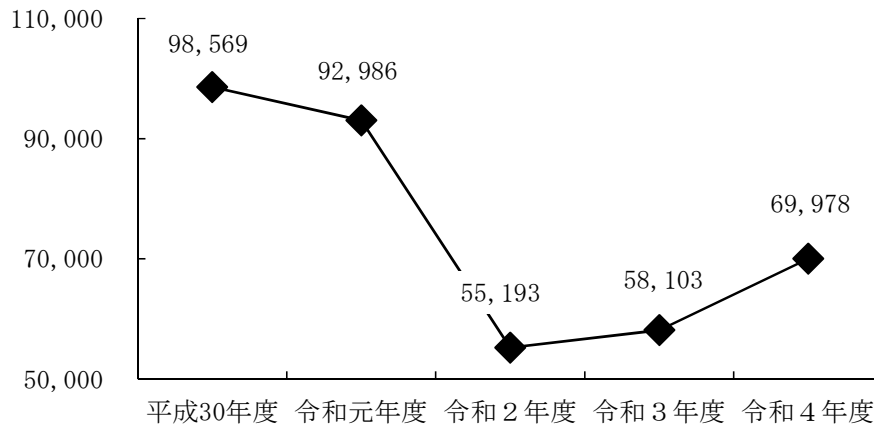
(単位：千円)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
総 収 益	723,848	688,752	174,105	117,073	130,062
総 費 用	735,245	706,501	198,619	136,176	145,728
当期収支差額	△11,397	△17,749	△24,514	△19,103	△15,666

(⑤1402\_ふるさと公社\_総収入等の推移)

(人)

## 合計入込数



一般社団法人遠野ふるさと公社

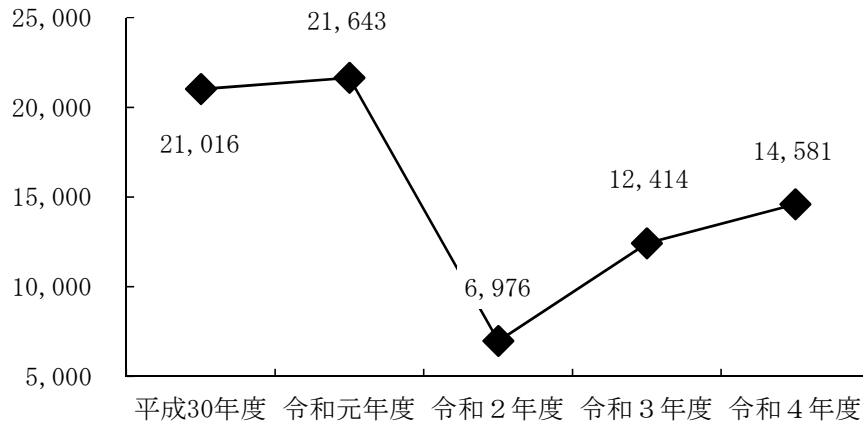
(単位：人、%)

区分		入込数					前年度比較	
No.	施設名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	増減	増減率
1	ふるさと村	29,577	26,441	9,962	13,526	18,967	5,441	40.2
2	たかむろ水光園	68,992	66,545	45,231	44,577	51,028	6,451	14.5
計		98,569	92,986	55,193	58,103	69,995	11,892	20.5

(◎1403\_ふるさと公社\_01入込数)

(千円)

## 売店部門の売上推移



一般社団法人遠野ふるさと公社

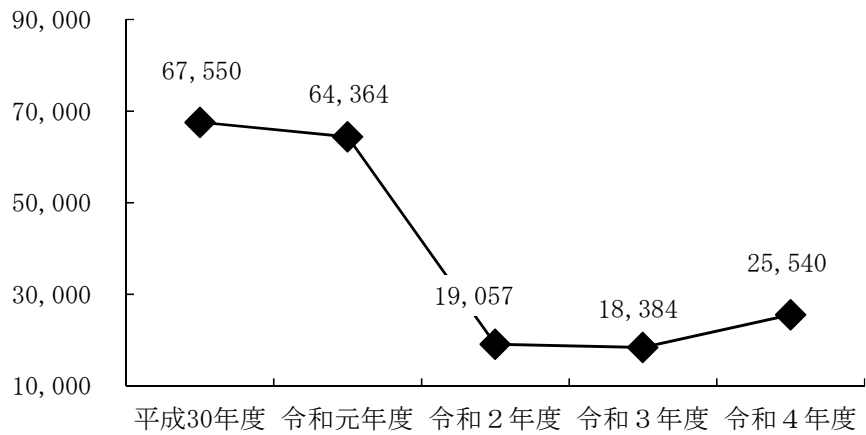
(単位：千円、%)

区分		売店部門の売上推移					前年度比較	
No.	施設名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	増減	増減率
1	ふるさと村	10,430	8,984	252	6,210	9,151	2,941	47.4
2	たかむろ水光園	10,586	12,659	6,724	6,204	5,430	△774	△12.5
計		21,016	21,643	6,976	12,414	14,581	2,167	17.5

(◎1404\_ふるさと公社\_02売店)

(千円)

### 食堂部門の売上推移



一般社団法人遠野ふるさと公社

(単位：千円、%)

区分		食堂部門の売上推移					前年度比較	
No.	施設名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	増減	増減率
1	ふるさと村	15,473	14,917	2,455	0	0	0	0.0
2	たかむろ水光園	52,077	49,447	16,602	18,384	25,540	7,156	38.9
計		67,550	64,364	19,057	18,384	25,540	7,156	38.9

(©1405\_ふるさと公社\_03食堂)

(注) ふるさと村の食堂部門については、たかむろ水光園で食事の提供を行ったため売上はなし。

## (2) 財務状況

### 表1 損益計算書

一般社団法人遠野ふるさと公社

(単位：円、%)

区 分		令和3年度	令和4年度	前年度比較	
				増減額	増減率
1 収入	(1)事業収入	107,288,496	126,778,766	19,490,270	18.2
	(2)事業外収入	9,784,636	1,449,757	△8,334,879	△85.2
	計	117,073,132	128,228,523	11,155,391	9.5
2 支出	(1)事業支出	135,752,452	142,133,256	6,380,804	4.7
	(2)事業外支出	351,619	384,852	33,233	9.5
	計	136,104,071	142,518,108	6,414,037	4.7
収支差額		△19,030,939	△14,289,585	4,741,354	24.9
特別利益		0	1,833,255	1,833,255	皆増
特別損失		0	3,137,545	3,137,545	皆増
法人税等納税充当金		72,000	72,000	0	0.0
当期収支差額		△19,102,939	△15,665,875	3,437,064	18.0
前期繰越収支差額		△93,768,831	△112,871,770	△19,102,939	△20.4
次期繰越収支差額		△112,871,770	△128,537,645	△15,665,875	△13.9

(⑤1408\_ふるさと公社\_損益計算書)

表2 貸借対照表

一般社団法人遠野ふるさと公社

(単位：円、%)

区 分	令和3年度	令和4年度	前年度比較	
			増減額	増減率
1 資産	35,935,758	20,016,148	△15,919,610	△44.3
(1) 流動資産	34,577,653	19,009,680	△15,567,973	△45.0
現金預金	20,432,066	10,716,366	△9,715,700	△47.6
売掛金	4,596,338	3,174,688	△1,421,650	△30.9
商品	323,741	231,875	△91,866	△28.4
仕掛品	883,327	951,323	67,996	7.7
立替金	0	14,471	14,471	皆増
貯蔵品	952,469	1,290,647	338,178	35.5
未収金・未収還付法人税等	7,214,082	2,660,310	△4,553,772	△63.1
前払費用	245,630	0	△245,630	皆減
貸倒引当金	△70,000	△30,000	40,000	57.1
(2) 固定資産	1,358,105	1,006,468	△351,637	△25.9
建物付属設備	3,930,000	3,930,000	0	0.0
工具器具備品	3,543,093	3,543,093	0	0.0
減価償却累計額	△6,254,907	△6,606,544	△351,637	△5.6
電話加入権	89,919	89,919	0	0.0
投資有価証券	50,000	50,000	0	0.0
2 負債	77,807,528	77,553,793	△253,735	△0.3
(1) 流動負債	19,046,528	19,908,793	862,265	4.5
買掛金	2,801,903	1,613,001	△1,188,902	△42.4
未払金	15,299,183	15,276,576	△22,607	△0.1
仮受金	873,442	176,016	△697,426	△79.8
未払法人税等	72,000	72,000	0	0.0
未払消費税等	0	2,771,200	2,771,200	皆増
(2) 固定負債	58,761,000	57,645,000	△1,116,000	△1.9
長期借入金	58,761,000	57,645,000	△1,116,000	△1.9
3 正味財産	△41,871,770	△57,537,645	△15,665,875	△37.4
(1) 一般正味財産	△41,871,770	△57,537,645	△15,665,875	△37.4
(うち基本金)	71,000,000	71,000,000	0	0.0
負債及び正味財産合計	35,935,758	20,016,148	△15,919,610	△44.3

(◎1409\_ふるさと公社\_貸借対照表)

## 5 一般社団法人遠野わさび公社

地域に適した優良なわさび苗の開発、生産及び供給と流通に係る調査研究、わさびを活用した特産品の研究開発、生産技術の指導、公共施設の管理受託等、地域の産業振興と活性化を目的に設立された法人である。

遠野市進化まちづくり検証委員会による第三セクター等の検証結果を踏まえ、令和元年度から令和5年度までを計画期間とする中期経営計画により経営改革に取り組んできた。

その一つとして根わさびの生産販売に取り組み、わさび苗の販売と合わせた事業収入の金額は13,623千円と令和元年度から4期連続して1千万円を超えたが、わさび苗は安定的に生産・供給できる体制になく、事業収入の先行きは不透明である。

わさび苗の生産供給では、市内・県内外の根わさび・畑わさび生産者からの受注と公社の事業使用分を見込み、実生苗及び分根苗を合計52,306本（前年度71,178本）生産、3,300本を仕入れた。クローン苗は前年度の空調の故障により増殖個体を減らしたため、再度、茎頂培養を行ったが生産には至らず10,920本（前年度8,000本）を仕入れ、総販売本数は55,314本（前年度62,266本）だった。クローン苗は生産者の同意を得て仕入値に価格を引き上げて販売したが、実生苗は市外への販売数が減ったことから総販売額は昨年度より641,613円の減となった。

根わさび生産販売では、豊洲市場への出荷量は532kgで、市場単価が9月下旬から3月末まで高値で推移したことから、平均単価は9,509円/kgと昨年と比較し3倍の価格となった。これは、新型コロナウイルス感染症の影響により、他市におけるわさび苗の定植の遅れで品不足が生じたことによる。

わさび振興事業では、公社が生産者に直接出向き集荷したことから、全体出荷量は15,375kg（前年度12,289kg）と3,086kgの増となり、販売額は11,382千円（前年度7,496千円）と3,886千円の増となった。

経営成績では、総収益は27,605千円（前年度22,965千円）で4,640千円（20.2%）の増加となった。総費用は26,448千円（前年度25,361千円）で1,086千円（4.3%）増加し、当期収支差額は1,158千円（前年度△2,396千円）で3,554千円（148.3%）の増加となった。これに前期繰越収支差額△975千円を加えた次期繰越収支差額は182千円となった。

現在、加工用のわさび原料を市内農家から買取り、1次加工した根わさびを加工業者に販売しているが、その買取数量によって加工作業にかかる労力が左右され、公社本来の業務が滞ることが懸念される。今後においては、人的確保を含めた体制の強化と計画的な運営により安定した持続可能な法人経営に努めるとともに、更なる当市のわさび振興に寄与されたい。

## (1) 経営状況

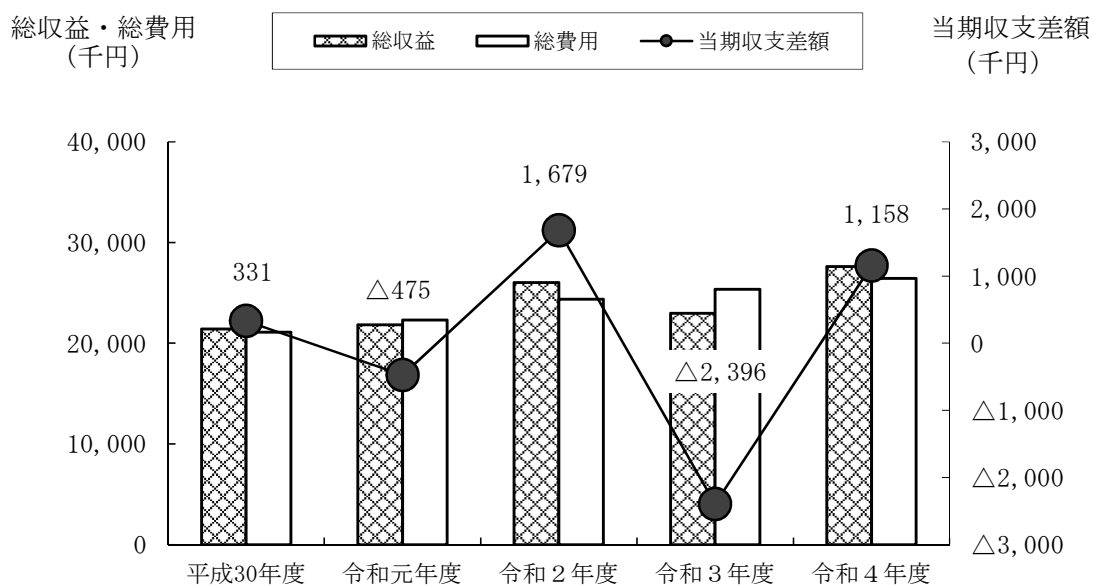
(単位：円、%)

区 分	令和3年度	令和4年度	前年度比較	
			増減額	増減率
総 収 益	22,965,139	27,605,083	4,639,944	20.2
総 費 用	25,361,126	26,447,507	1,086,381	4.3
当期収支差額	△2,395,987	1,157,576	3,553,563	148.3

(◎1501\_わさび公社\_経営状況)

※ 総費用には、法人税等納税充当金を含む。

### 総収益・総費用及び当期収支差額の推移



一般社団法人遠野わさび公社

(単位：千円)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
総 収 益	21,408	21,815	26,032	22,965	27,605
総 費 用	21,077	22,290	24,354	25,361	26,448
当期収支差額	331	△475	1,679	△2,396	1,158

(◎1502\_わさび公社\_総収入等の推移)



## (2) 財務状況

### 表 1 損益計算書

一般社団法人遠野わさび公社

(単位：円、%)

区 分		令和 3 年度	令和 4 年度	前年度比較	
				増減額	増減率
1 収入	(1) 事業収入	10,569,709	13,623,315	3,053,606	28.9
	(2) 営業外収益	12,395,430	13,981,768	1,586,338	12.8
	計	22,965,139	27,605,083	4,639,944	20.2
2 支出	(1) 事業費	15,816,349	16,199,141	382,792	2.4
	(2) 管理費	9,472,777	10,176,366	703,589	7.4
	(3) 法人税等	72,000	72,000	0	0.0
	計	25,361,126	26,447,507	1,086,381	4.3
当期収支差額		△2,395,987	1,157,576	3,553,563	148.3
前期繰越収支差額		1,420,870	△975,117	△2,395,987	△168.6
次期繰越収支差額		△975,117	182,459	1,157,576	118.7

(⑤1503\_わさび公社\_損益計算書)

表2 貸借対照表

一般社団法人遠野わさび公社

(単位：円、%)

区 分	令和3年度	令和4年度	前年度比較	
			増減額	増減率
1 資産	9,437,452	9,697,004	259,552	2.8
(1)流動資産	7,944,315	8,068,550	124,235	1.6
現金及び預金	919,141	356,793	△562,348	△61.2
売掛金	1,287,542	2,221,026	933,484	72.5
仕掛品	3,722,251	3,365,813	△356,438	△9.6
前払費用	770,000	280,000	△490,000	△63.6
未収入金	1,072,581	1,604,492	531,911	49.6
積立金	172,800	240,426	67,626	39.1
(2)固定資産	1,493,137	1,628,454	135,317	9.1
構築物	948,363	836,455	△111,908	△11.8
車両運搬具	0	1	1	皆増
工具器具備品	290,641	654,092	363,451	125.1
一括償却資産	244,133	122,066	△122,067	△50.0
出資金	10,000	10,000	0	0.0
預託金	0	5,840	5,840	皆増
2 負債	5,412,569	4,514,545	△898,024	△16.6
(1)流動負債	5,412,569	4,514,545	△898,024	△16.6
買掛金	148,648	263,976	115,328	77.6
未払費用	2,273,839	811,643	△1,462,196	△64.3
前受金	1,056,000	5,760	△1,050,240	△99.5
未払消費税	341,000	415,200	74,200	21.8
預り金	1,521,082	2,945,966	1,424,884	93.7
未払法人税等	72,000	72,000	0	0.0
3 純資産	4,024,883	5,182,459	1,157,576	28.8
(1)資本金	5,000,000	5,000,000	0	0.0
(2)利益剰余金	△975,117	182,459	1,157,576	118.7
負債及び純資産合計	9,437,452	9,697,004	259,552	2.8

(◎1504\_わさび公社\_貸借対照表)

## 6 株式会社遠野ふるさと商社

一般社団法人遠野ふるさと公社（以下「公社」という。）の経営改革を進めることを目的に、令和2年2月21日に遠野市の出資により株式会社TFKとして設立した法人で、令和2年5月20日に現在の名称に商号変更した。

令和2年7月1日、公社が行っていた遠野市情報交流センター（遠野風の丘）及び伝承園の指定管理者制度に基づく管理運営、市からの遠野市ふるさと納税返礼品発送業務等各種受託業務、営業販売（地域商社）事業の譲渡を受けて本格的に事業を開始した。

風の丘事業は、ホップを素材とした自社商品の販売強化、売り場やイベント等のソフト事業の改善を行った。また、前期から課題となっていた産地直売組合の組合員数の減による出荷量の減少に対し、組合と連携し組合員12名の加入と出荷量の増加に努め、施設全体の販売実績は風の丘オープン以来過去2番目となった。

地域商社事業は、ふるさと納税部門に専任人材を採用し、返礼品の開発強化やふるさと納税ポータルサイト「さとふる」への新規出店など戦略的な取組により、寄附額を前年度比2倍の約2億9,200万円まで上げた。

商品開発部門においては、「ホップフランク」と「ホップソーダ」の遠野風の丘での販売強化のほか、食品卸会社への営業展開を進め、ホップソーダは年間2.5万本売上げた。部門別売上は、売店部門の2施設及び販売部門4事業の合計で286,302千円、食堂部門は2施設で77,526千円となっている。

伝承園事業は、カップを前面に打ち出したイベントの企画ポスターが話題となり、入込数は30,405人と前年度と比較し79.4%の増となった。

市からの指定管理・受託事業では、2施設の指定管理料として15,728千円、受託事業である遠野市ふるさと納税返礼品発送等業務、友好都市等交流事業物産販売業務、さわやかトイレ等清掃業務、遠野市観光推進基本構想・基本計画策定業務、観光物産プロモーションイベント業務、遠野市出身学生等支援事業業務、地域未来投資産学官共同研究事業業務等の合計で100,958千円の収入があった。その他、商い元気回復事業費補助金、震災復興で生み出された新たな魅力発信事業の負担金等で2,501千円の収入があった。

経営成績は、総収益516,063千円、総費用487,478千円、当期純利益28,585千円の黒字となり、これに前期繰越利益剰余金1,366千円を合わせた29,952千円が次期繰越利益剰余金となった。

事業においては、各事業部別に課題分析を行い、KPI（重要業績評価指標）及び取組方針を定め、遠野ならではの価値を創出し、新たな事業へ取り組む姿勢が認められた。

令和5年4月からは、遠野市から遠野ふるさと村及びたかむろ水光園の事業の指定管理業務を受けることになるが、今まで取り組んできたノウハウを活かし、新たな事業展開による収益の改善に努められるとともに、地場製品の普及・販売や地域活性化の重要な役割を担う地域商社として、その機能が発揮されることを望む。

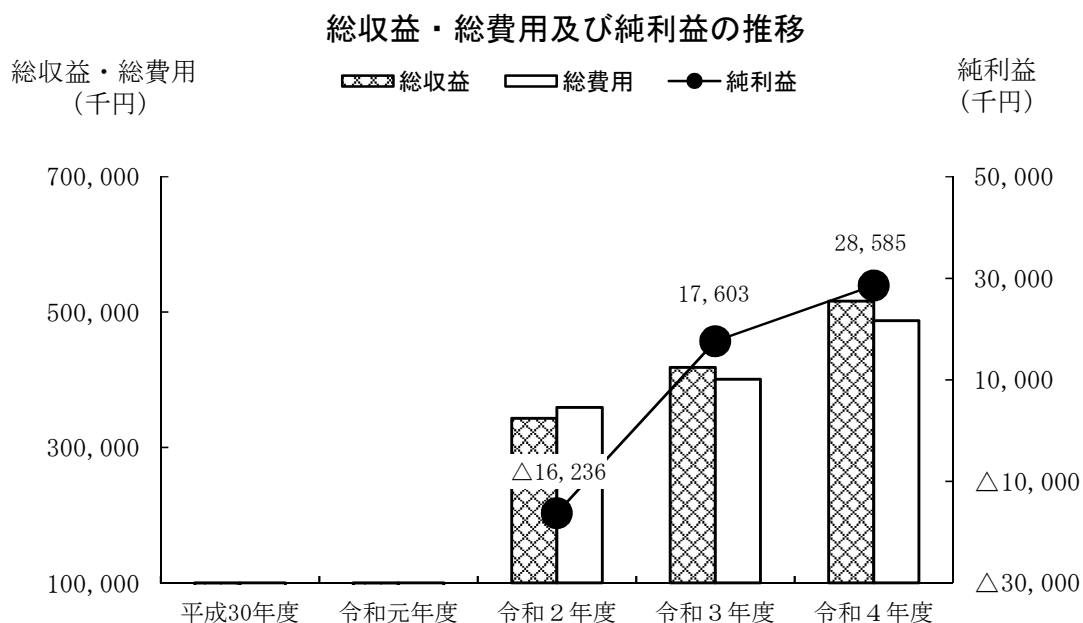
## (1) 経営状況

(単位：円、%)

区 分	令和3年度	令和4年度	前年度比較	
			増減額	増減率
総 収 益	418,350,887	516,063,086	97,712,199	23.4
総 費 用	400,748,410	487,477,788	86,729,378	21.6
当期純利益	17,602,477	28,585,298	10,982,821	62.4

(⑤1601\_ふるさと商社\_経営状況)

※ 総費用には、法人税等充当額を含む。

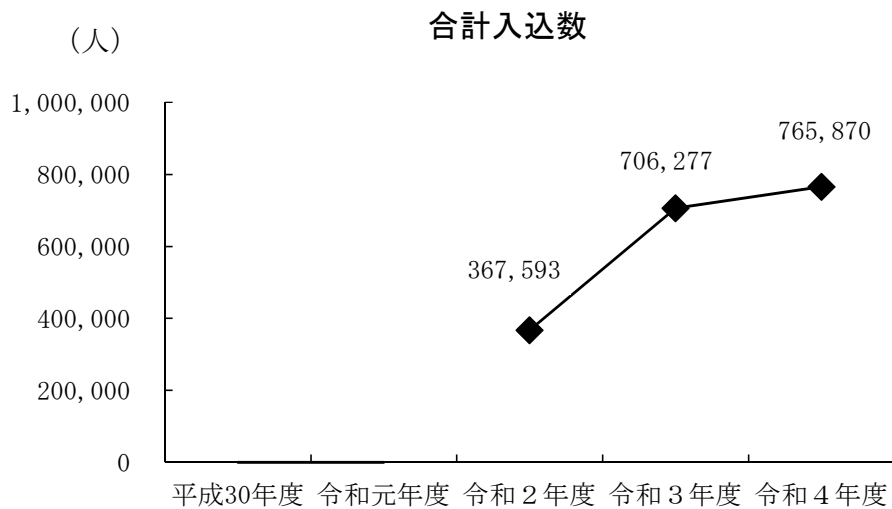


株式会社遠野ふるさと商社

(単位：千円)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
総 収 益	—	—	343,170	418,351	516,063
総 費 用	—	—	359,406	400,748	487,478
純 利 益	—	—	△16,236	17,603	28,585

(⑤1602\_ふるさと商社\_総収益等の推移)

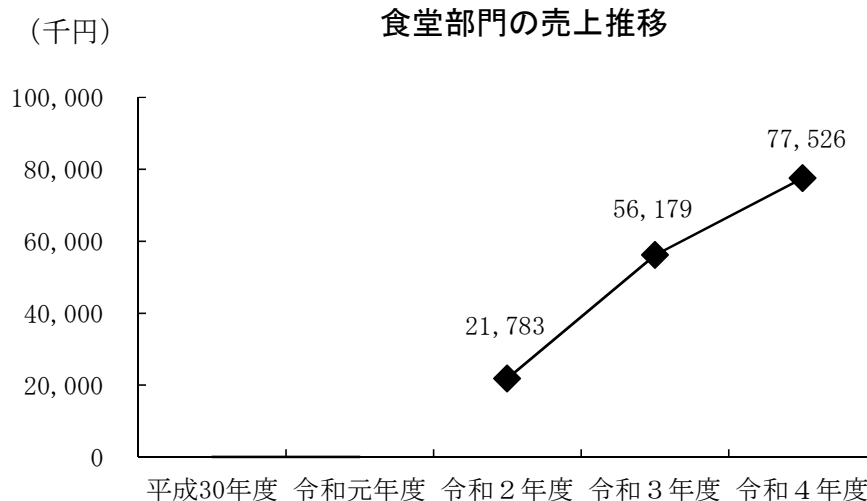


株式会社遠野ふるさと商社

(単位：人、%)

区 分		入 込 数					前年度比較	
No.	施 設 名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	増減	増減率
1	伝 承 園	—	—	13,680	16,944	30,405	13,461	79.4
2	風 の 丘	—	—	353,913	689,333	735,465	46,132	6.7
計		—	—	367,593	706,277	765,870	59,593	8.4

(⑤1603\_ふるさと商社\_01入込数)



株式会社遠野ふるさと商社

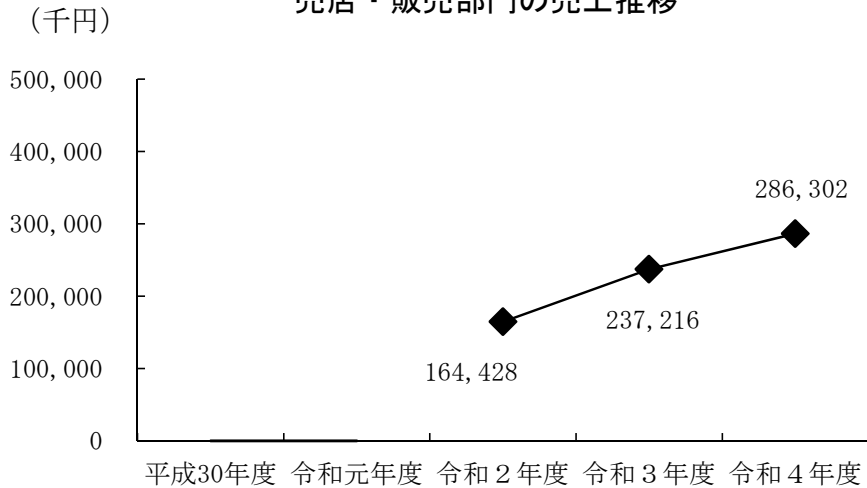
(単位：千円、%)

区 分		食堂部門の売上推移					前年度比較	
No.	施 設 名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	増減	増減率
1	伝 承 園	—	—	6,965	9,739	16,483	6,744	69.2
2	風 の 丘	—	—	14,818	46,440	61,043	14,603	31.4
計		—	—	21,783	56,179	77,526	21,347	38.0

(⑤1605\_ふるさと商社\_03食堂)

(注) 令和2年度については、「7月～3月」の9カ月間の金額である。

### 売店・販売部門の売上推移



株式会社遠野ふるさと商社

(単位：千円、%)

区 分		売店・販売部門の売上推移					前年度比較	
No.	施設名等	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	増減	増減率
1	売店部門	—	—	6,799	7,440	12,663	5,223	70.2
2		—	—	70,423	179,457	230,924	51,467	28.7
3		—	—	32,665	19,213	—	△19,213	皆減
4	販売部門	—	—	28,558	8,425	15,343	6,918	82.1
5		—	—	19,810	18,787	17,116	△1,671	△8.9
6		—	—	2,161	480	7,094	6,614	1,377.9
7		—	—	4,012	3,414	3,162	△252	△7.4
計		—	—	164,428	237,216	286,302	49,086	20.7

(©1604\_ふるさと商社\_02売店・販売)

(注) 令和2年度については、「7月～3月」の9カ月間の金額である。

売店部門の川徳店については、令和3年11月に退店した。

## (2) 財務状況

### 表1 損益計算書

株式会社遠野ふるさと商社

(単位：円、%)

区 分		令和3年度	令和4年度	前年度比較	
				増減額	増減率
1 収入	(1)売上高	405,785,338	509,130,518	103,345,180	25.5
	(2)営業外収入	12,565,530	4,598,319	△7,967,211	△63.4
	計	418,350,868	513,728,837	95,377,969	22.8
2 支出	(1)売上原価	200,733,676	269,672,900	68,939,224	34.3
	(2)販売費及び 一般管理費	190,104,027	205,592,318	15,488,291	8.1
	(3)営業外費用	529,327	325,611	△203,716	△38.5
	計	391,367,030	475,590,829	84,223,799	21.5
経常利益		26,983,838	38,138,008	11,154,170	41.3
特別利益		19	2,334,249	2,334,230	12,285,421.1
特別損失		966,846	0	△966,846	皆減
法人税、住民税及び事業税		8,414,534	11,886,959	3,472,425	41.3
当期純利益		17,602,477	28,585,298	10,982,821	62.4
前期繰越利益剰余金		△16,236,210	1,366,267	17,602,477	108.4
次期繰越利益剰余金		1,366,267	29,951,565	28,585,298	2,092.2

(◎1608\_ふるさと商社\_損益計算書)

表2 貸借対照表

株式会社遠野ふるさと商社

(単位：円、%)

区 分	令和3年度	令和4年度	前年度比較	
			増減額	増減率
1 資産	139,105,980	171,971,515	32,865,535	23.6
(1) 流動資産	134,784,732	167,269,997	32,485,265	24.1
現金及び預金	103,830,158	126,134,698	22,304,540	21.5
売掛金	4,628,100	7,632,775	3,004,675	64.9
商品	5,492,709	5,417,047	△75,662	△1.4
仕掛品	0	947,918	947,918	皆増
製品	803,327	0	△803,327	皆減
貯蔵品	778,946	869,200	90,254	11.6
前払費用	127,320	429,920	302,600	237.7
立替金	44,494	29,536	△14,958	△33.6
仮払金	0	17,578	17,578	皆増
未収入金	19,214,678	26,024,325	6,809,647	35.4
貸倒引当金	△135,000	△233,000	△98,000	△72.6
(2) 固定資産	4,321,248	4,701,518	380,270	8.8
建物附属設備	1,943,934	1,821,411	△122,523	△6.3
工具器具備品	1,704,470	1,741,353	36,883	2.2
一括償却資産	513,334	879,244	365,910	71.3
保証金	159,510	259,510	100,000	62.7
2 負債	73,689,713	77,969,950	4,280,237	5.8
(1) 流動負債	64,523,713	70,471,950	5,948,237	9.2
買掛金	11,746,515	20,293,374	8,546,859	72.8
未払金	19,128,944	15,250,104	△3,878,840	△20.3
預り金	406,570	321,539	△85,031	△20.9
仮受金	13,776,384	20,885,133	7,108,749	51.6
未払法人税等	8,400,600	7,743,900	△656,700	△7.8
未払消費税等	11,064,700	5,977,900	△5,086,800	△46.0
(2) 固定負債	9,166,000	7,498,000	△1,668,000	△18.2
長期借入金	9,166,000	7,498,000	△1,668,000	△18.2
3 純資産	65,416,267	94,001,565	28,585,298	43.7
(1) 株主資本	65,416,267	94,001,565	28,585,298	43.7
資本金	64,025,000	64,025,000	0	0.0
資本準備金	25,000	25,000	0	0.0
繰越利益剰余金	1,366,267	29,951,565	28,585,298	2,092.2
負債及び純資産合計	139,105,980	171,971,515	32,865,535	23.6

(⑤1609\_ふるさと商社\_貸借対照表)